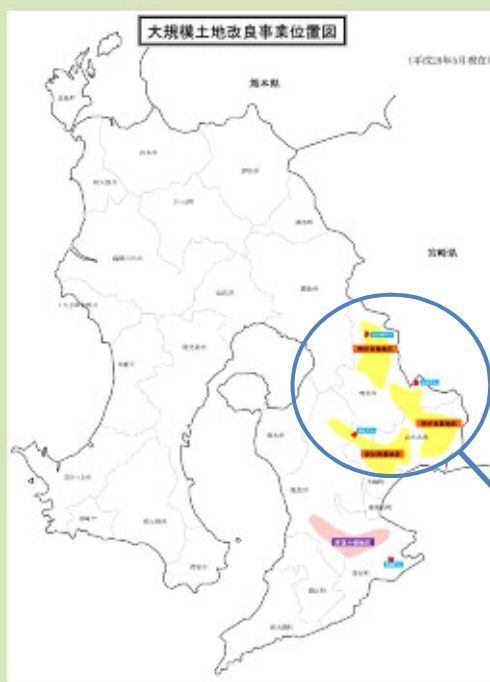


# かごしまの農業農村整備 効果事例

## 水がはぐくむ新たな農業

「大規模畑地かんがいの推進」により経営基盤の強い農業を目指します！



■ 沖永良部地区 p2

■ 曾於地区 p1



平成28年7月  
鹿児島県

# 進めています！ かごしまの大規模畑かん整備

## 曾於地区の事例

曾於市・志布志市・鹿屋市・大崎町

～さまざまな効果を生み出す畑地かんがい施設整備～

事業：国営かんがい排水事業 及び 附帯県営事業  
曾於南部地区，曾於北部地区，曾於東部地区

### ○ 概要 ○

- ◇大隅半島に位置する曾於地域は、耕地面積19,610haのうち70%を畑地が占める。
- ◇シラスや赤ホヤなどの保水性の低い特殊土壌が広く分布し、干ばつの常襲地帯。
- ◇このため、新規に水源池を確保し、9,182haの畑地帯を対象に国営及び県営事業で畑地かんがい施設を整備。
- ◇畑地かんがい施設を利用した水利用が展開されており、さまざまな効果が発現。

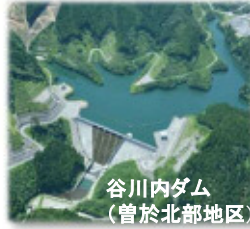


### 散水の省力化



実施前

施設の整備により



谷川内ダム  
(曾於北部地区)

容易な散水が可能に！



事業実施後

### 農業法人の増加と生産性向上

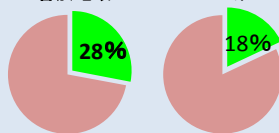
農業法人が増加！

曾於地域は全県に比べ、農業法人の増加率が高く、中でも野菜部門の割合が高い状況にある。

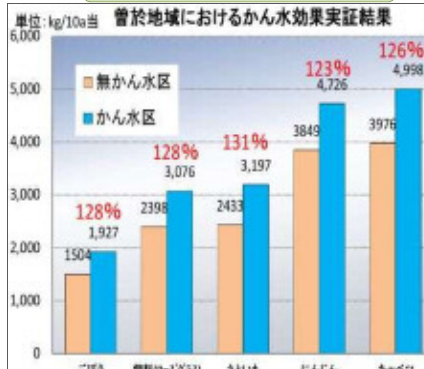
農業法人数の推移

	H20	H26	増加率 (%)
曾於地域	117	147	126
全県	873	1,075	123

農業法人(野菜部門)の割合(H26)



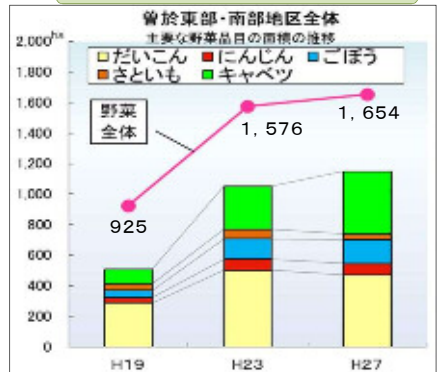
かん水による収量の増加！



実証結果による無かん水区と比べた収量は

約1.3倍UP!!

水利用品目(野菜)が年々増加！



畑かん施設整備とともに増加傾向にあり、野菜全体のH27/H19比で

約1.8倍UP!!

### こんなになりつつあります(波及効果)

#### ○ 短期的な効果

- ・高品質，多収量による所得増
- ・余剰時間の創出

#### ○ 長期的な効果

- ・新品種の導入(高収益作物)
- ・作期の分散(リスク軽減)
- ・農地の集積，規模拡大

6次産業化  
ブランド化  
輸出振興  
などに取り  
組みます。

#### ○ 輸出促進の事例

茶：アメリカ向けを中心に輸出が拡大  
H24：4t → H26：38t

散水による病害虫防除などIPM技術を駆使し、輸出国の食品安全基準に対応できる有機栽培茶の生産技術の確立に取り組む





